

UW Womenの動き

UN Women、新たなステージへ：
軍事費を抑制、ジェンダー平等への投資を

◆シマ・サミ・バホス新事務局長の就任

これまで世界の女性と少女の課題に果敢に取り組んでこられたヌカカUN Women事務局長の任期満了に伴い、2021年9月、新事務局長にシマ・サミ・バホス氏(Sima Sami Bahous)が就任しました。アラビア、英、フランス語に堪能。女性と少女、ジェンダー平等、若者のエンパワーメント、質の高い教育、貧困の緩和、包括的ガバナンスの熱心な擁護者です。国、地域、市民社会での国際レベルにおける35年以上のリーダーシップの経験と、女性のエンパワーメントと権利の推進、差別と暴力への取り組み、SDGsの達成に向けた持続可能な社会経済開発の促進に実績を重ねてきました。アラブ連盟事務総長補兼社会開発部長、UNDP総裁補兼アラブ局長、国連ヨルダン政府常駐代表を歴任されています。

・女性の人権は国際法の中核原則である

バホス氏は国際女性暴力撤廃デーの声明で、「昨夏、世界の女性と少女に対する400億米ドルの公約の一環として立ち上げられた、ジェンダーに基づく暴力に関する行動連合「ジェネレーション平等(平等を目指すすべての世代)フォーラム」という新しい機会が開かれている」と新しい取り組みに言及し、「女性の人権は、国際法の中核原則である」と述べています。

また、「これ以上、進捗を停滞させることはできない」「政府がステップアップする必要がある」として、国連安全保障理事会の女性・平和・安全に関する公開討論の発言の中では、各国政府への要求を具体的に述べました。

<以下要約>

・ジェンダー平等への投資をさらに

安全保障理事会決議1325号の採択から21年になる。国連事務総長の報告の調査結果から、最も顕著な2つの教訓に焦点を当てる。

第一に、女性への資金提供、平和と安全保障の議題を大幅に増やし、逆に軍事費を抑制する必要がある。第二に、平和と安全のプロセスへの女性の有意義な参加を支援するために、さらに多くの事を行う必要がある。軍事費の抑制は、1995年北京

行動綱領の主要な目的だった。「ジェネレーション平等フォーラム」でも再確認された。SDGs16の達成にも不可欠だ。ジェンダー平等への投資が、平和に高い見返りをもたらすことを示している。

昨年、世界の軍事費は2.6%増加した。対照的にジェンダーに基づく暴力と性と生殖に関する健康サービスに取り組むセクターへの投資が十分ではない。2018年から2020年の間に達成された停戦協定には、性的暴力の禁止は含まれていなかった。ジェンダー条項を伴う和平協定の割合は28.6%だ。

・支出パラダイム*を変えるには

この重要な時点で、優先順位を確認する必要がある。ジェンダー平等を推進し、女性に対する暴力を減らす私たちの活動力について、女性の運動の強さほど優れたものはない。

プログラムによる資金調達と制度的資金調達の両方を緊急に加速する必要がある。支出パラダイムを変える道は、選出され任命されたポストに女性を増やすことだ。

国際社会に対し、防衛及び安全保障部門の支出に関する意思決定への女性の参加を支援し、軍事費レベルに影響を与えるためのジェンダー予算ツール及びプログラミングの使用を拡大し、市民による軍事監視を強化するために、より多くのことを行うよう要請する。女性の命が絶えず脅かされているのなら、女性が平和を築くことはできない。事務総長報告書では、紛争環境や難民キャンプでの女性と少女に対する暴力を例示しており、その多くはほぼ完全に免責されている。2016年以来400以上の女性団体を支援している「女性の平和と人道基金」は、そのような場合のための特別な窓口の開設に取り組んでいる。女性組織の活動を支援し、女性に対する攻撃を非難し、調査し、罰し、女性の市民活動を制約し、活動と資金を削減している可能性のある国内法の見直しに取り組んでもらいたい。政府がステップアップする必要がある。

参考:UN Women HPより

要約:城倉純子

※その時代のものの見方・考え方を支配する認識の枠組み

第31回

国連ウィメン日本協会東京チャリティコンサートに参加して 安藤紀子 ミュージシャン



国連ウィメン日本協会東京主催第31回チャリティコンサートに伺った。

小倉茉緒さん(ピアノ)小澤美咲紀さん(ソプラノ歌手)のDuo。

黒いスパンコールのドレスと対象的な淡いピンクのドレスに身を包んだお二人が登場し、会場が一気に華やかになった。

第一部のオープニングで、小林秀雄の「すてきな春に」は、お二人の呼吸の合った調べで、寒い秋を吹き飛ばして冬を超え、会場に春が訪れたかのような感じだった。

2曲目、W.A.モーツァルト『後宮からの誘拐』より、ああ、私は恋をして幸せでした～この曲は超絶技巧を見事に仕上げ引き込まれた。そしてピアノソロで、N.メトネルの忘れられた調べ第2集より「春」Op.39-3、そして、L.v.ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第14番「月光」Op.27-2へと続いた。繊細さと大胆さを表現した美しい音色に魅了された。

第2部では、ピアノ曲で有名な、F.リストの「愛の夢」～をソプラノで唄いあげた。この曲は歌のバージョンが先に出来て、原点だそうでとても新鮮だった。

続いてR.シュトラウスの「アモール」。

そして、ピアノソロによるC.ドビュッシーの前奏曲集第2集より「オンディーヌ」。『ウンディーネ』の挿絵を観て作曲されたという。水中に消える水の精が目を開くと見えてくるかのように美しく透明な吸い込まれるような演奏。そして「花火」は、低音や高音の音色の使い分けが多様な色彩を感じた。圧巻であった。

ラストを飾るのに相応しい、G.ドニゼッティの「ランメルモールのルチア」より「彼の優しい声が」。再びソプラノとのDuo。華やかな毅然とした歌声と美しいピアノとの調和は、会場を魅了し感動に包まれ幕を閉じた。

このコンサートを終えて、第一に感じた事は、なんて素晴らしいクォリティの高い若い優秀なアーティストなんだろうという満足感であった。プログラムも多様で芸術の秋の時間を楽しんだ。

お二人のこれからの活躍が楽しみでならない。

ピアノにも歌声にもパワーがあふれ、会場を驚かせた



「国際ガールズデー」オンラインイベント参加報告

10月11日は2012年に国連が定めた「国際ガールズデー」です。この日にあわせて少女の人権について考え、未来への扉を開ける教育とエンパワーメントを推進するための行事が世界各国で開催されています。国連ウィメン日本協会は、10月24日にオンラインチャリティ・イベント「学校に行きたい！学びはエンパワーメントの扉」を開催し、当会もZoomウェビナーに協力参加しました。

初めに「女子教育とUN Womenの活動」と題して谷津都萌子 UN Womenパートナーシップ・資金調達専門官(石川日本事務所長代行)による講演がありました。UN Womenは、今年のガールズデーでは「インターネットとデジタル機器への女子の平等なアクセス」「女子が安全かつ有意義にテクノロジーにアクセスするための機会の促進」を目標に掲げていますが、現実には女子のデジタル平等への道は険しいものがあります。テクノロジー分野での格差の実態や若い女性のエンパワーメントに向けたアフリカでの活動事例などを示しつつ、

UN Womenの取り組みについて紹介がありました。

次いで、青木裕子 軽井沢朗読館館長によるマララ・ユスフザイ著『マララ 教育のために立ち上がり、世界を変えた少女』の朗読がありました。マララさんがなぜ気高い精神をもって社会と戦うことができているのか、その背景に迫り、ご本人の感性はもちろん、幼少期からのご家族や父親の支えと教育があったからこそが語られ、彼女が育った環境を知ることができました。とくに女子校を経営、教師でもあった父親は、娘のマララさんに夢をあきらめないよう応援し、その自由を守り続けたことに深い感動を覚えしました。また、ノーベル平和賞授賞式のスピーチでは、先進国の優れたリーダーたちを前に、戦争よりも平和を築くほうに努力を積み重ねるべきと具体的に堂々と語りかける姿に、胸が熱くなりました。

(城倉純子 阿部幸子)

メキシコでは、ここ数年フェミニズムが社会現象となっている。女性が声を上げ続けて、腐敗や男性優位主義(マチスモ)が蔓延る国家、行政、そして社会を目覚めさせようとしている。2020年のGGGI(グローバル・ジェンダー・ギャップ指数)25位のメキシコで、女性たちを中心に、なぜフェミニズムの意識がここまで高まっているのだろうか。

背景には、深刻なフェミサイドの現状がある。国家公共治安システム事務局(SESNSP)によると、2018年1月～2020年12月にメキシコで殺された女性(未成年を含む)は11,217人にのぼる。1日あたり10人強の割合である。統計上1990年以降最も高い数値で、フェミサイドが増加の一途にあるにもかかわらず、当局が捜査に着手したのはこのうち24.5%(2018年)に満たない。つまり、大半の罪が裁かれず、捜査もされずに放置されているのだ。メキシコ現大統領ロペス・オブラドールは治安回復、汚職摘発、無処罰の廃絶を謳って就任3年目となるが、目に見える形での成果は一向に表れていない。Covid-19のパンデミック下で、失業やこどもの学校閉鎖の影響を直接的に受けた女性たちが置かれた環境は一段と厳しくなった。家庭内暴力も依然深刻である。このような状況に、女性たちは怒りを噴出させ、デモを頻繁に起こし、時に破壊活動を伴ってでも、女性の訴えに関心を向けさせようとしている。

GGGIでもわかる通り、メキシコは女性の社会進出が盛んだ。女性の声が国を動かした顕著な例が、インターネット上の性暴力を取り締まる法律、通称「オリンピア法」の成立(2021年4月)だ。現在26歳の女性活動家オリンピア・コラル・メロの尽力がその通称名の由来だが、デジタル媒体での性的被害に成す術なく苦しむ人々(本人を含めその大半が女性)

の正義のために、自ら立ち上げたNPO、弁護士、社会活動家、心理学者等々からなる全国的なネットワークと、彼女を熱心に支える支援者たちにより、7年かけて法律制定・全国的な施行にこぎつけた(オリンピアは今年9月、TIMES誌の「世界で最も影響力のある100人」に選ばれた)。

文化的にも、女性のエンパワメントの意識は着実に広がっている。歌手ビビール・キンターナが2020年3月8日の国際女性デーに首都メキシコ市の中央広場で歌った、「恐れずに生きる(Vivir sin Miedo)」は、メキシコ人女性が抱える心理を歌ったメッセージソングとして、国内外に広く知られることとなった。歌詞の一節、”Nos sembraron miedo,nos crecieron alas”(私たちは恐怖を植え付けられたが、翼を広げた)と入力して検索すると、YouTubeでその様子がわかる。

暴力によって命を落としたり、暴力で苦しみ続ける女性たちの悲痛な想いを、自分たちが声を上げることで届けようとするメキシコの女性たちの叫びに、ぜひ耳を傾けていただきたい。



地下鉄に安心して乗りたい



みんなの愛で苦痛に立ち向かおう



彼女は誰か
(妹でも母でも娘でも妻でもない=誰だって大事)

<https://time.com/collection/100-most-influential-people-2021/6095962/olimpia-coral-melo-cruz/>

<https://www.youtube.com/watch?v=FOzj841TWTY>

<https://www.observatoriofemicidiodimexico.org/post/comunicado-osc-denuncian-ante-la-onu-violencia-femicida-en-mexico>

バザー事業部から ～久々のバザー風景～

新型コロナの感染拡大の中、幸い日本は先進国の中でも感染が抑えられているトップの国になり、クリスマスを迎えます。毎年恒例の埼玉県「上尾市民文化会館」でのクリスマスチャリティコンサートも12月12日には盛大に行われ、主催者・友清和親氏のテノールの美声、清友会各合唱団の上演など



友清氏を囲んで

バザーの様子

素晴らしいものでした。トモキヨ音楽院には、当会のバザー出店やご寄付のご協力など、長きにわたり温かいご支援を頂いておりまして大変有難く存じます。

11月19日、一足先に行われた当会主催チャリティコンサート「ピアノとソプラノの Duo Concert」でも、開演30分前には1年ぶりの出店を待ちかねた皆さまがバザーの製品を買い求めて下さいました。委員お手製のパウンドケーキやマドレーヌ、オレンジピールは早々と売完。

さらに休憩時間にもカードやはがき、小物、インド綿の製品、ベトナム製品、会員協力品等、年末一掃の1～2割値引きで放出。「皆さん、これを機に如何でしょうか！」の声掛けで、たくさんの収益がありました。皆さまの温かい応援に心から感謝いたします。

(事業部 太田恵子 背戸民恵)



下記のように2022年度の定例総会を開催いたします。
 コロナ感染症の終息が見えにくい状況が続く中、
 残念ではありますが、本年は例年の記念講演会はありません。
 総会後には交流会を予定しています。
 どうぞ参加ください。

日時：2022年2月15日(火)

13:00 受付開始 13:30～14:30 総会
 (引き続き交流会)

会場：婦選会館

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

詳細につきましては、後日、はがきでお知らせいたします。

<アクセス> 婦選会館

JR 線
 代々木駅北口・新宿駅南口・
 新南口下車 徒歩 7分
 小田急線
 南新宿駅下車 徒歩 3分
 地下鉄都営新宿線・大江戸線
 新宿駅 A1 出口下車 徒歩 3分

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-21-11
 TEL : 03-3370-0238



※地図 婦選会館HPより

たくさんのご寄付・ご協力をいただき有難うございました。

(敬称略)

寄付者 (2021年5月1日～2021年11月30日)

白根和味 中山正子 立木冬麗 梅田和子 牧島悠美子 中務安紀子 高田武子 飯田寛子 本間美智子
 堀口裕子 安陪陽子 奥田豊子 辰巳京子 大山圭湖 長谷川瑞穂 山崎節子 鷺見八重子 鷺見誠一
 阿部幸子 渡邊みち子 縄田真紀子 加藤聖子 新井静子 春原則子 金子裕子
 碓谷真理 田邊光子 向後紀代美 太田恵子

新入会員 (2021年5月1日～2021年11月30日)

土部元子 安齋 徹



国連ウィメン日本協会東京主催バザー及びグッズの紹介

いつもグッズ購入ありがとうございます。
 これからも世界中からフェアトレードや女性の
 支援になるようなグッズをご用意していきます。
 ご協力よろしくお願ひいたします。



昔懐かしい 手作り
メッセージカード



温かみあふれる
裂織バック



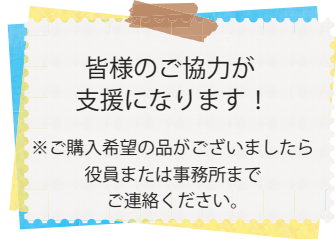
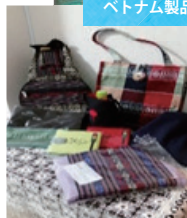
日高先生オリジナル
のメッセージカード



人気抜群
オレンジピール



ベトナム製品



皆様のご協力が
支援になります！

※ご購入希望の品がございましたら
役員または事務所まで
ご連絡ください。



インド製品の散々

編集後記

国際婦人年連絡会の重鎮、日本BPWの前代表、平松昌子様が11月30日に急逝されました。ユニフェムからUN Womenへの組織改革があった10年前、平松様のご助言とご尽力により当団体は連絡会傘下の組織から今日の国連ウィメン日本協会東京として独立することができました。平松様の訃報に接し、心からの感謝を捧げ、ご冥福をお祈りさせていただきます。(A)

2年間に亘るコロナ危機に、従来の社会経済システムでは乗り越えられない、新たな仕組みの創造へと、2021ダボス会議(世界経済フォーラム主催)は、コロナ後の世界に向け、「グレート・リセット」をテーマに掲げました。会議は中止に、しかし経済社会のリセットに向けた取り組みが加速しています。日本は、変わることができるのでしょうか。(J)

国連ウィメン日本協会 東京

News Letter

Vol.29

発行人：会長 城倉純子

発行日：2021年 12月 13日

〒167-0042 東京都杉並区西荻北3-11-3

サンコート西荻窪 105

Tel/Fax 03-6913-9946

<http://unwomentokyo.org>

E-mail:unwomentokyo@unwomentokyo.org